

志野医師からのひと言:レムナントコレステロール

悪玉(LDL)コレステロールが動脈硬化を引き起こして心筋梗塞になったりするのはご存じの方も多いと思います。今回は、あまり耳慣れない、“レムナント”コレステロールもそれに負けず劣らず動脈硬化の原因になるというお話です。

レムナントは“残り物”という意味で、血液中にある脂肪分が分解された代謝産物、すなわち残りかすのようなものです。コレステロール全体のうち、よく知られる悪玉(LDL)や善玉(HDL)コレステロール以外のものと説明されることもあります。

健康な人では、すぐに肝臓に取り込まれてなくなります。メタボリックシンドロームなどの人では血液中に長時間とどまり、動脈壁に沈着し、動脈硬化を引き起こします。高中性脂肪(TG)血症の人、糖尿病の人、肥満の人はレムナントコレステロールが高くなると言われています。最近では測定方法も確立し、メタボや動脈硬化性疾患などの診断にも利用されています。

栄養に関してのお問い合わせは、栄養科または外科外来までご連絡ください。

